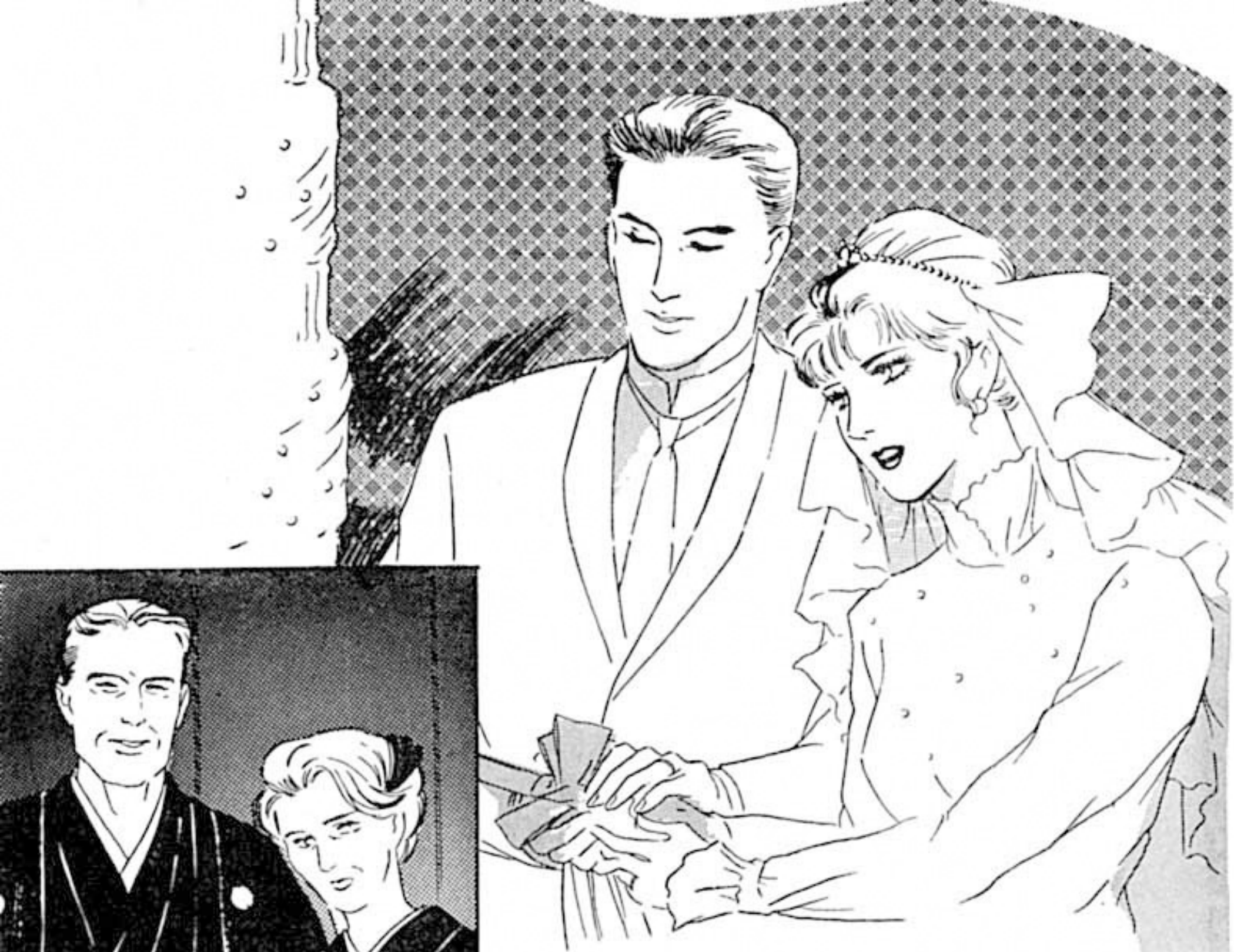




人妻調教淫ら地獄

MINEGISHI HIROMI

峯岸汪未



ひとりで来たのは…
お父さんとやり
直すつもりで？
あの人は
うまくいってない
んでしょう

おめでとう美和
とてもきれいな
花嫁さんよ



お父さんは
優しいわ…
でもそのつもりは
ないの
彼からは…
離れられない

…ありがとう

そんなに
やつれても？

控室



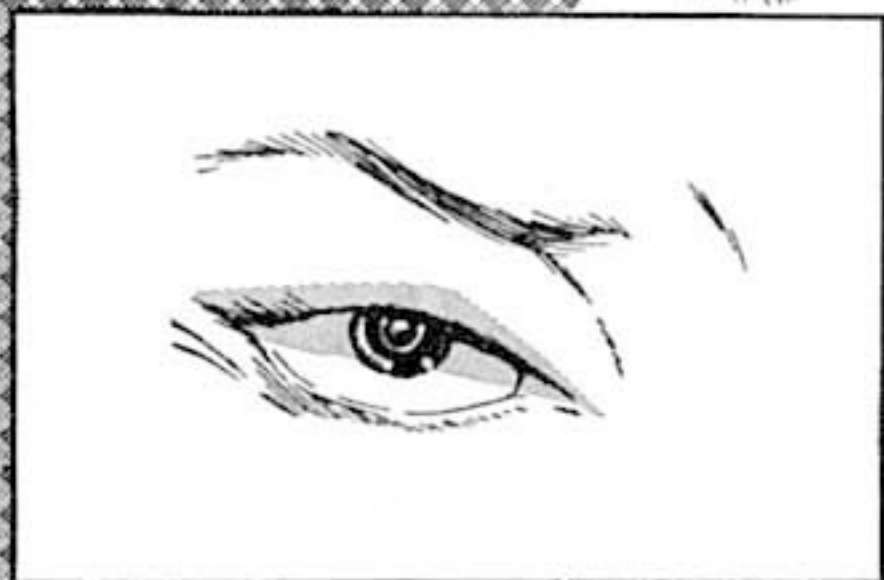
ええ…そう
あなたには
わかってる
はずよ
彼の熱い肌に
触れた女は
誰でも…



母は知っていた…！
わたしが彼に抱かれたことを
彼女の目はわたしを
なじるようにきらきら光り
……



やめて！
わたしは知らない
彼なんか
大っきらい！！





いつも…そうだった…
彼と抱きあうときは
あの男がいつのまにか
忍びこんで来て…

わたしに裏切り
をさせる—

もう…
もういや
こんなの…って



寛之さん
愛して…
わたしにあの
化けものを
忘れさせて…



わたし…わたし
いけない女よ
でも…愛してる

永遠にあなたを
愛し続けるわ





あ…あ…っ



美和ったら！
可愛い
大好きだよ



ほらっ
こいも…

こいも…



ちつとも
イケナイ女じゃ
ないよ
ほくはどっちの
美和も好き



すばらしい初夜
だったよ美和
きみはアノ時
別人みたいに大胆に
なる



共白髪まで
いや…あの世でも
夫婦でいようね



うらやましい
なあ：
あんたがた
夫婦
カミさんに
理解がある
つてのサイコ



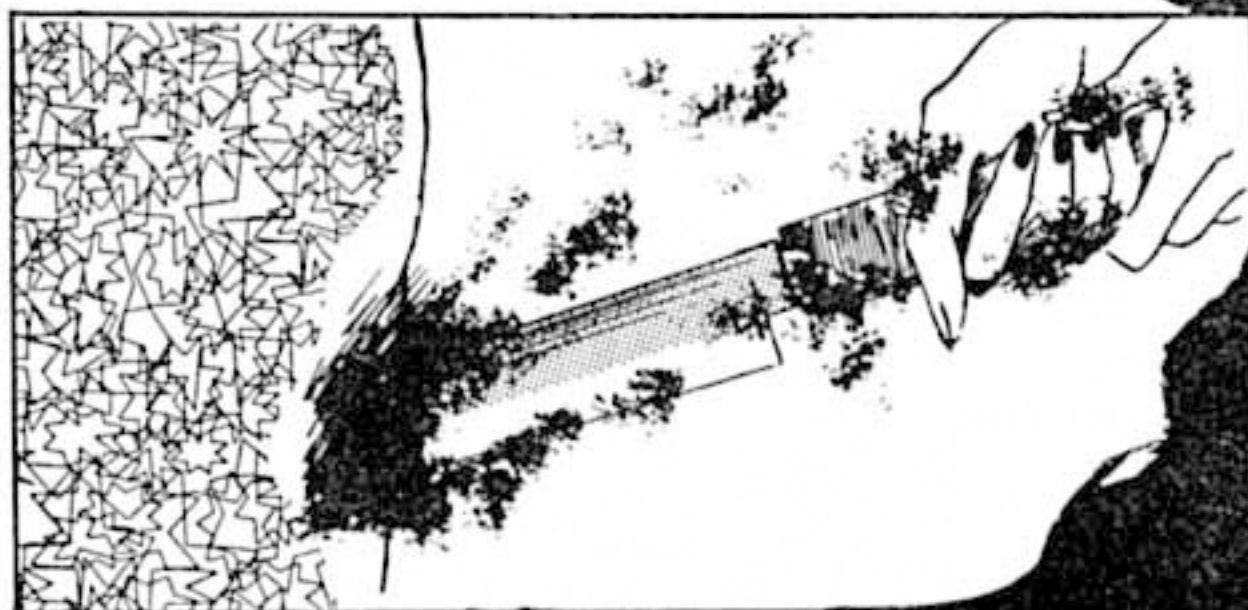
そうそう
毎日弁当
届けてくれる
なんて
信じられないよ



こいつう
ズーズー
しいぞっ

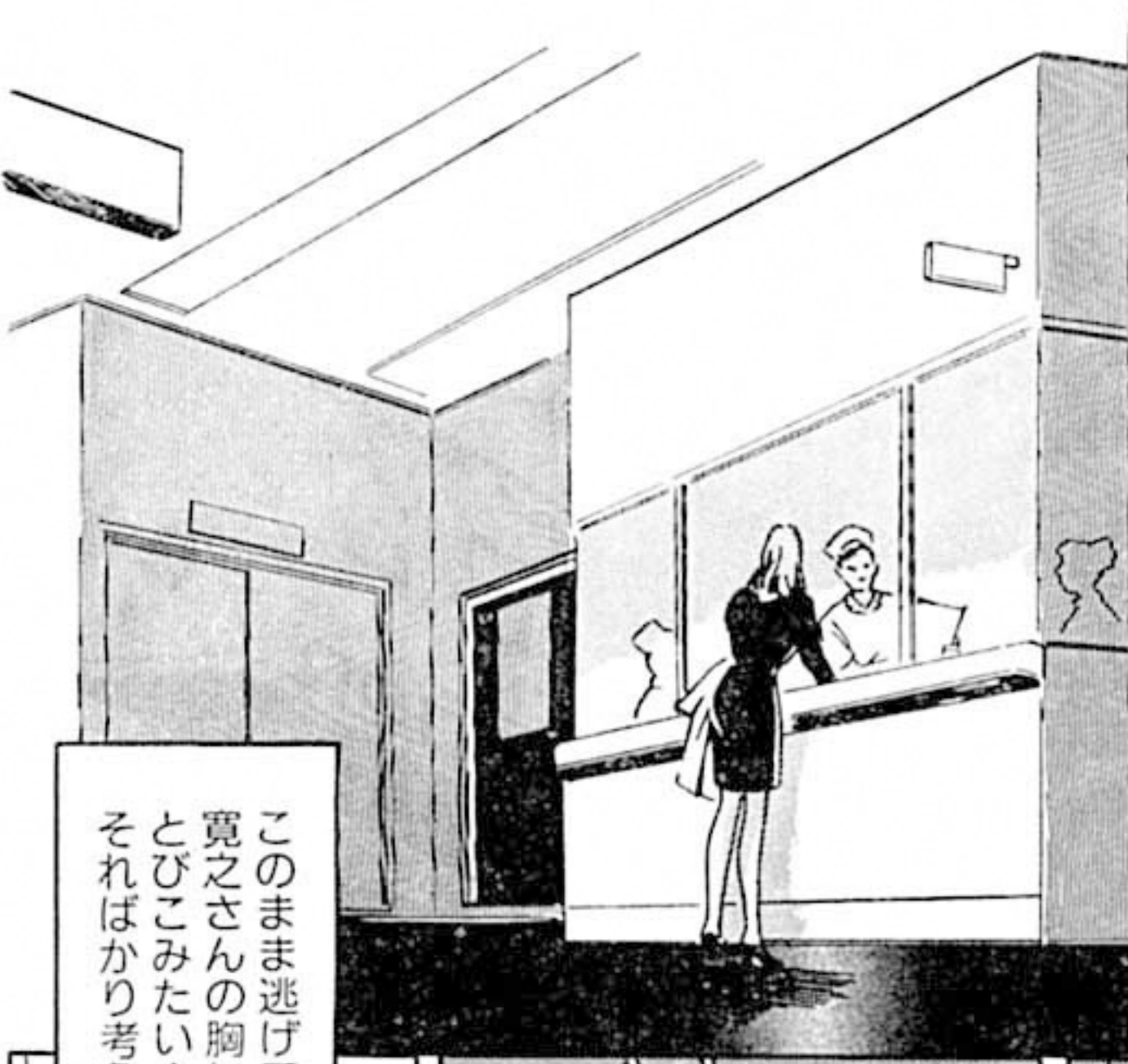
へへへいつも
おすそわけに
あずかって
るよ

みなさんの分も
ありますから
良かったらどうぞ





母はなにを血迷って
いるのでしょうか…
いやでしたこんな最悪の形で
あの男に会うのは…



このまま逃げて
寛之さんの胸に
とびこみたい…
そればかり考えて…



ガキヤツ



きれいだ
いい女になった
あんなつまらん町に
住まわせておくのは
もったいない

あ...あなた
やっぱり...

そうだよ
きみとだんなが
どんなところに
住むか
見たかったのさ



...っ
ああっ
やめ...



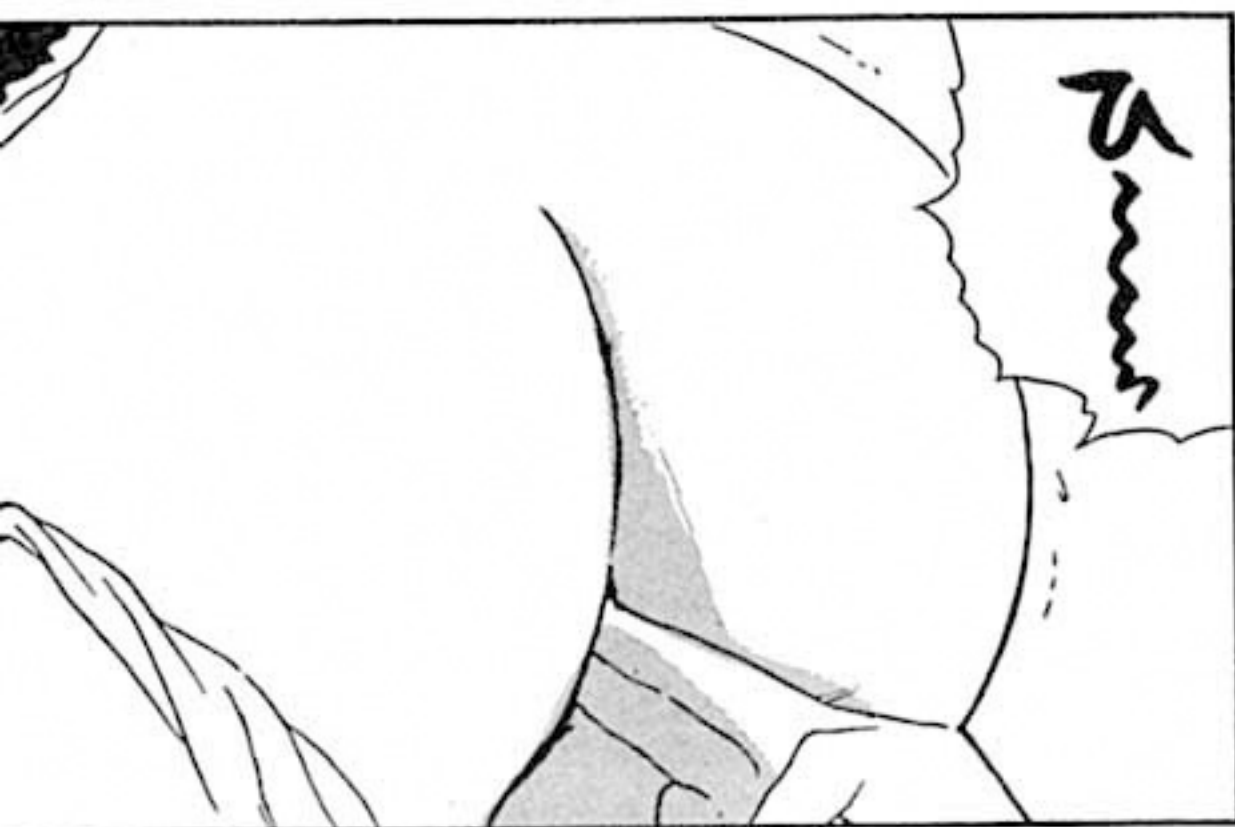
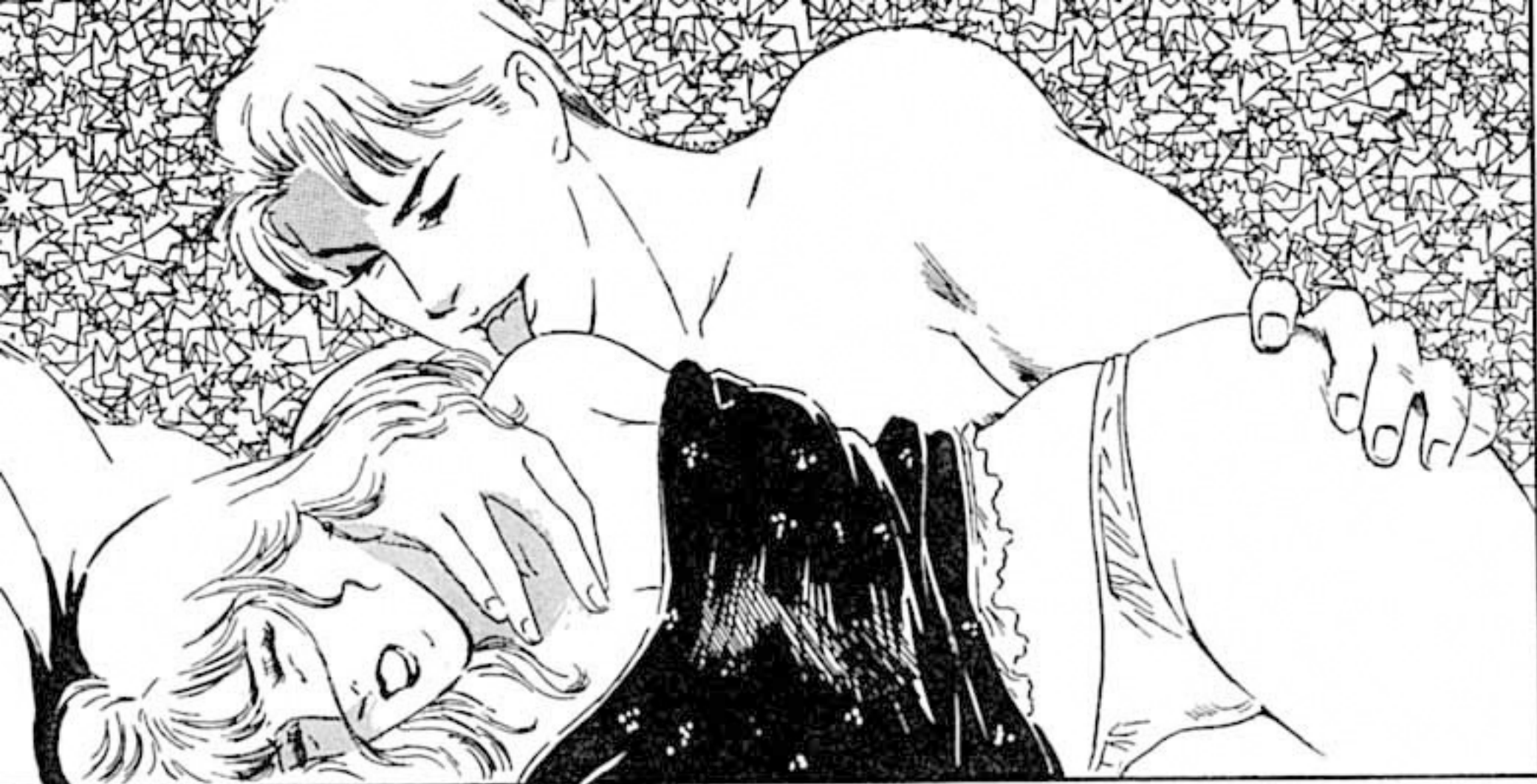
しばらく前に
親父の事業を
相続してね
今ではいっぱしの...



コレさ
逆らわない
ほうがいいよ



あの貸家も
大家はおれ
なんだ
おまえはすっかり
おれの手の内には
まってるんだよ





酷い男：恥知らず
わかってているのに
わたしは：
わたしの体は：

忘れていなかった
忘れられなかったのよ
彼の熱い肌が：
冷たい心が：

あ…お…お
う…